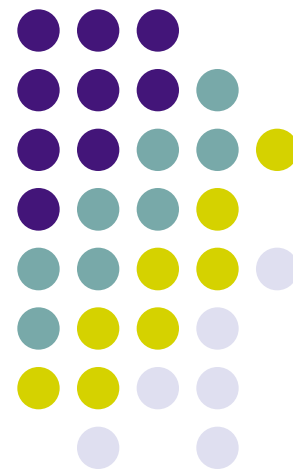


# 就労支援施設 ココロネ

～脱・福祉を目指して～

ココロネ株式会社



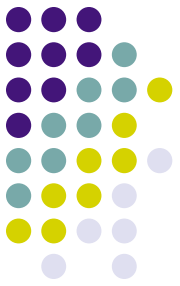


# 勤続20年 現場のリーダーとなって

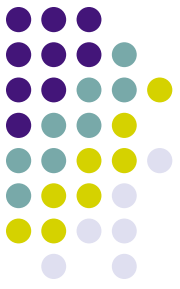
- 平成3年中学を卒業し、一般就労でフジ化学入社。
- 障がい者を特別扱いせず、他の従業員と同様、厳しく接した。
- 中学生時代、三年間柔道で鍛えられた心身はともに強く、めげずに毎日少しずつ成長していった。
- 気がつけば20年が経ち、今では現場のリーダーとなり、スタッフを指導できる立場になった。
- 責任ある仕事を任せられ、充実した毎日を送っている。



# 会社の宝



- フジ化学にとって障がい者は不可欠な戦力として積極的に雇用してきた。
- 単純作業の繰り返しの中で光るルーチンパワー。
- 指示は素直に実践する。
- 常に人の動きを見て積極的に改善していく。
- そんな彼らに責任ある仕事を任せ、達成感を得たことで、仕事に生き甲斐を感じるようになった。
- 自然と、努力・達成・喜び・努力の好循環が生まれ、フジ化学の躍進に繋がった。
- フジ化学にとって彼らは「戦力」であり、「宝」。



# ココロネ誕生

- 安定した就労の受け皿として就労継続A型を設置。
- 今までの経験を生かし、より多くの障がい者が就労できるようにしていかなければ、という思い。
- 一般企業から誕生した「ココロネ」の目的は「一般就労」という明確なもの。
- 就労の希望に応え就労へ繋いでいく、就労移行支援事業を開始。
- 一般就労の受け皿が乏しく、また一般就労達成までの道のりにおいて、それ以外の受け皿の必要性を感じた。
- 稼げるB型の必要性を感じ、就労継続支援B型事業を開始。





# NESTへ

- 就労継続A型から始まり、就労移行支援、就労継続B型と事業が拡大。
- 社内外によりわかりやすく、より深いコミュニケーションを目的としてCI(Corporate Identity)を導入。
- 「いつか、必ず、羽ばたく。」をスローガンに。
- 利用者が力強く飛び立つ事を願い、施設名を「ワークトレーニングセンター NEST」に変更へ。

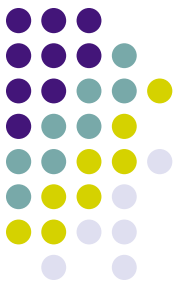




# 誰にでもわかりやすく

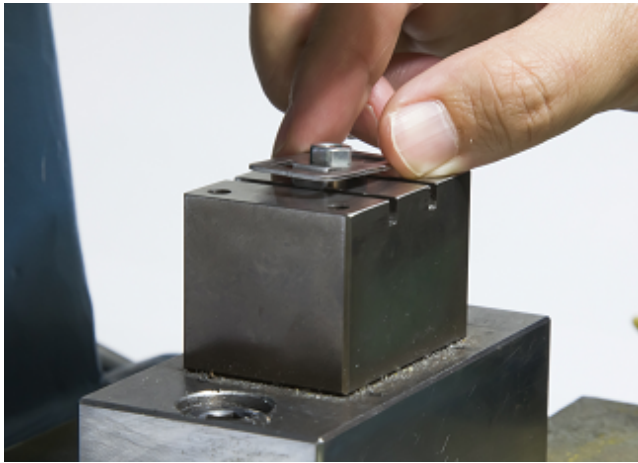
- 障がい者を特別扱いせず、戦力としてみる。
- 「障がい者にわかりやすく」ではなく、「誰にでもわかりやすく」。
- フジ化学での20年以上の経験を生かした「工夫」。
- 1時間に100個で止まらず、200個、300個作れる工夫を。
- 徐々に上がっていく目標、達成と自信とやる気の好循環。





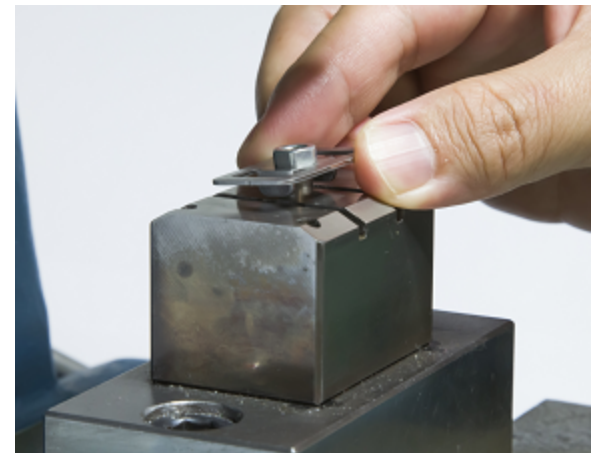
# 工夫ひとつで、必ず伸びる。

- 職人でも昨日よりも今日と能率を上げることを日々追求し、常に最高の能率を求める。
- 誰でもスムーズに金型からプレートが取れるよう、金型の形を調節。
- ミリ単位の調節で半年。
- この工夫で、1時間に300個から400個だったものが700個～800個の成果になった。



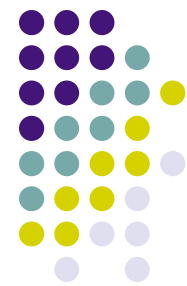
従来の金型

角が指にあたりプレートがとりにくかった。



改善後の金型

プレートが取りやすくなり、1時間の成果が2倍に。

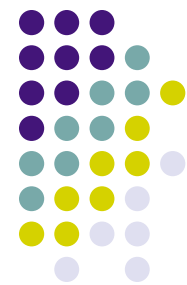


# リングの組み付け作業

- 容器にリングを組み付ける作業。
- 支援員が常にそばにいらなくても、集中して作業できるように工夫。







# 検査作業

- 隅々まで確認し、徹底的に検査。
- 傷や指紋がつかないように、綿手をして丁寧に扱っている。



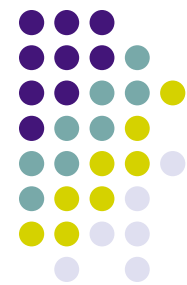


# プレス作業

- カウンター付きで、自分が作った個数をはっきりわかる。
- 失敗事例をきちんと表示し、教育指導することで、不良・故障を防ぐ。



# クリップAssy



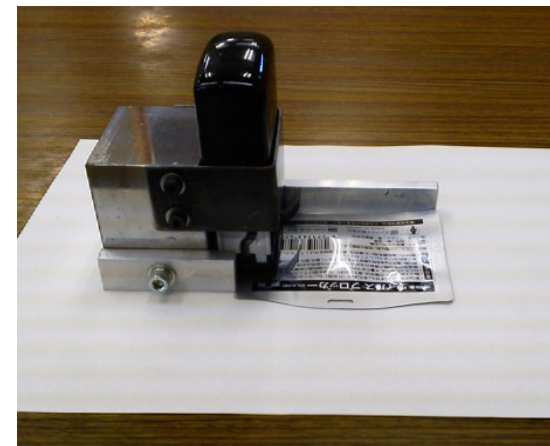
- プレートとプラスチック部品（クリップ）の組み立て作業。
- 出来上がり品を入れるケースを100個単位にすることで、いくつできたかわかりやすく工夫。

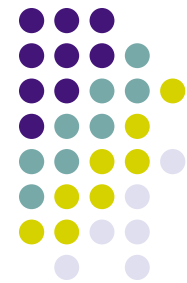




# ウィルスブロッカー製造

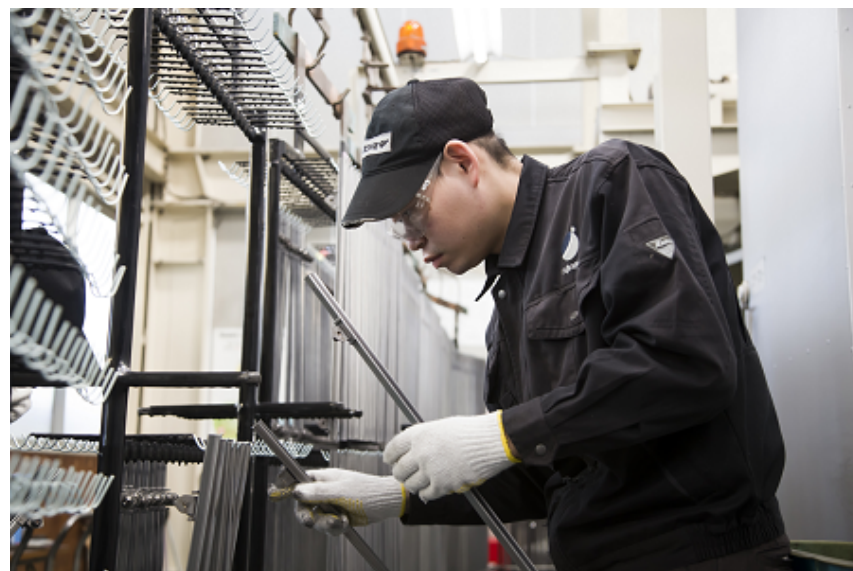
- 製造年月日のスタンプ、薬効を封じるシール貼りや、薬剤袋詰め、アルミ袋のシーリング、製品の袋詰め等様々な工程を分担で行う。
- スムーズに作業に取り組めるよう、様々な治具を製作。
- 開始当初から1ヶ月で1日の生産数が2倍に。





# 吊るし掛け

- フジ化学の中での仕事。
- メッキをするために部品をハンガーにかける作業。
- 部品は、小さなもの、大きなもの、折れ曲がった複雑なものなど様々。
- ライン上で動くハンガーに部品をかける難易度の高い作業も。





# サッカー

- 2009年1月にサッカー部を結成。
- ドリブルはもちろんスキップさえできない状態からスタートの者も。
- スキップ、ドリブルと教え、毎日コツコツと自主的に練習を重ねていった。
- 練習を始めて4ヶ月で出場した大会で準優勝、続いて出場した大会では優勝。
- 奇跡の職場ではなく、利用者に元々力があるんだということの証明に。



# 農作業

- 作物を作る過程には、生きていくための基本あり。
- 一生懸命作った作物を収穫する時の喜びは成功体験に。
- 農作業を通して、これから先どんなに厳しい時代が来ても乗り越える心と体を鍛えていく。

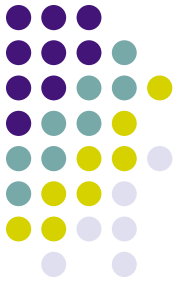


収穫した菊芋の  
洗浄作業



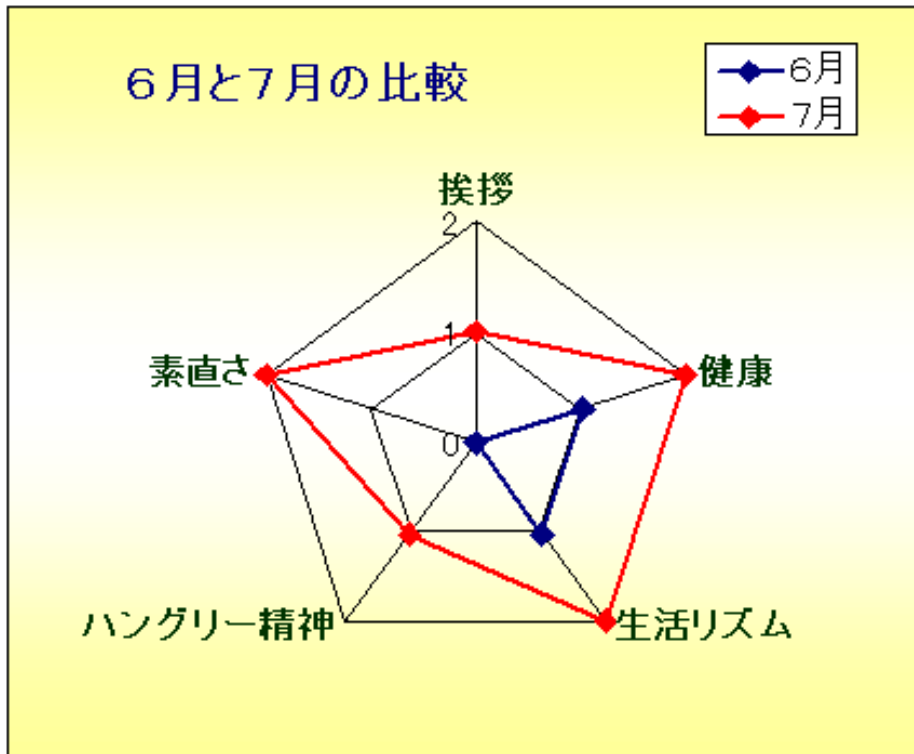
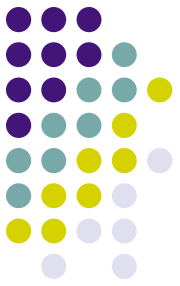
# 企業実習

- 企業側にとっては利用者を知る機会であり、利用者が十分戦力になるということを理解できる。
- 利用者にとっては企業を知る良い機会であり、一般就労への意識が高まる。
- 一般就労を実現するために大切な取り組み。

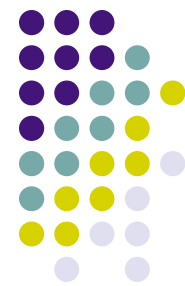




# 目標と評価の数値化



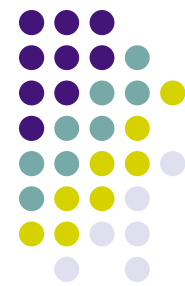
- 言葉だけでは伝わりにくいことも。
- マナーやルールも「見て伝わる」ツール等使用し、現状や変化をはっきり伝える。
- 目標の数値化や、それに対する工程表を示すことで利用者の不安を解消。
- わかりやすく、安心して作業に取り組める工夫。



# ある利用者の変化

6月からB型の利用開始した36歳男性の事例。

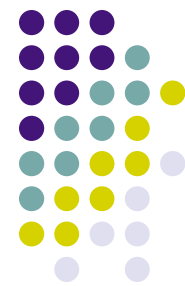
- ウィルスブロッカーの製造で比較的難しい作業でも質が高い作業を行えたが、集中力を持続できず、ペースが安定しなかった。
- 指導員と一緒に作業をしたり、ペースの速い利用者と迎え合わせに配置したりなどしても効果がなかった。
- 工賃の明細書を見ていた時の反応から作業量と工賃の関連付けができていないのでは？と推測。
- 8月から自分の作業量からその日の工賃と累計工賃を、毎日工賃計算表で計算し、把握させてみることに。
- すぐに変化があり、1日の作業量が400～500だったのが600～700台を維持できるようになり、最高では850と2倍近い数量になった。
- さらに6月の工賃明細を見る機会があり、2ヶ月前には1ヶ月かけていた工賃が8月は2週間程で得ることが出来ていたことに本人が気付いた。
- そのことを指導員に報告した時の表情はとても良いものだった。



# 自立のための指導と補助と

研修中の職員と移行利用者(知的障がい/19歳女性)の事例。

- 新しく吊るし掛けの作業を始めた時、彼女はかけることだけに意識が向かい、ハンガー1面の8割9割で向きやかけ方が違ってしまいう状態だった。
- 研修中の職員は最初部品のかけ方から細々と声をかけていた。
- 本人に見本を確認させ、何度でもやらせることで「見本を確認し、同じ状態でかけること」を身につけさせなければならぬと職員が指導を受ける。
- かけ方をやって見せるだけでは、他の部品の時に対処ができるようにならないため。
- 実際それを行い、確認作業で再度見本と比べていくことで徐々に掛け間違いが減っていった。
- 最初は目が離せない状態が続いたが、今では彼女もひとりで作業ができるようになった。
- 職員は障がい者の可能性の実感とともに、先回りや目先だけで手を貸すのではなく、自立のためにあえて見守ることの重要性を知った。



# 事業内容

- **就労移行支援**

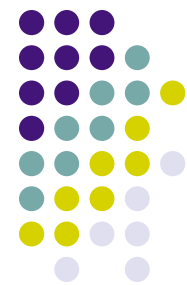
一般就労等への移行に向けて施設内や企業における作業や実習、適性に合った職場探し、就労後の職場定着のための支援。通所によるサービスを原則とし、個別支援計画の進捗状況に応じて、企業実習等によるサービスを組み合わせたもの。

- **就労継続支援A型**

通所により雇用契約に基づく就労の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった者について、一般就労への移行へ向けて支援を行うもの。

- **就労継続支援B型**

雇用契約は結ばず、通所により就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった者は一般就労への移行に向けて支援を行うもの。



# 会社概要

- 会社名 ココロネ株式会社
- 所在地  
〒418-0022 静岡県富士宮市小泉843-1
- TEL 0544-21-9000
- FAX 0544-21-9071
- 役員 代表取締役 遠藤一秀
- 設立日 平成21年2月17日
- 事業内容 障害福祉サービス事業